

令和2年度 6月定例教育委員会会議における協議事項について

協議事項（1）「奈良市の目指す教育について」

◆ 協議概要

学校再開の機会に環境整備を視点にまとめた「教育 ICT システム」の資料を示し、今年度策定する教育大綱や教育振興基本計画のために、その文言や内容について検討を行った。

◆ 発言概要

- 3つの目指す子ども像について異論はない。この子ども像を目指すために、市の取組の成果や課題を洗い出し、何に重点をおいて方向性を出していくのか議論である。また、ICTを活用してどのような教育を行うのか議論が必要である。
- 新しい取組を始める今だからこそ、今まで積み上げてきた教育を見直し、しっかりと考える必要がある。
- 学校では、対面授業や共通の場での議論など、従来の学校のスタイルがベースである。オンラインは一つのメソッドであり、瞬間的に始まったのでしっかりと分析が必要である。
- オンラインは教育格差が付きやすいスタイルであると思う。取り残さない学力サポートをしていく等のメッセージが必要である。
- PBL や ArtsSTEM などの横文字について、分かりやすく誤解なく伝えるよう検討が必要である。
- 子どもの多様性を伸ばしていくには、教員の資質能力の向上が必要である。